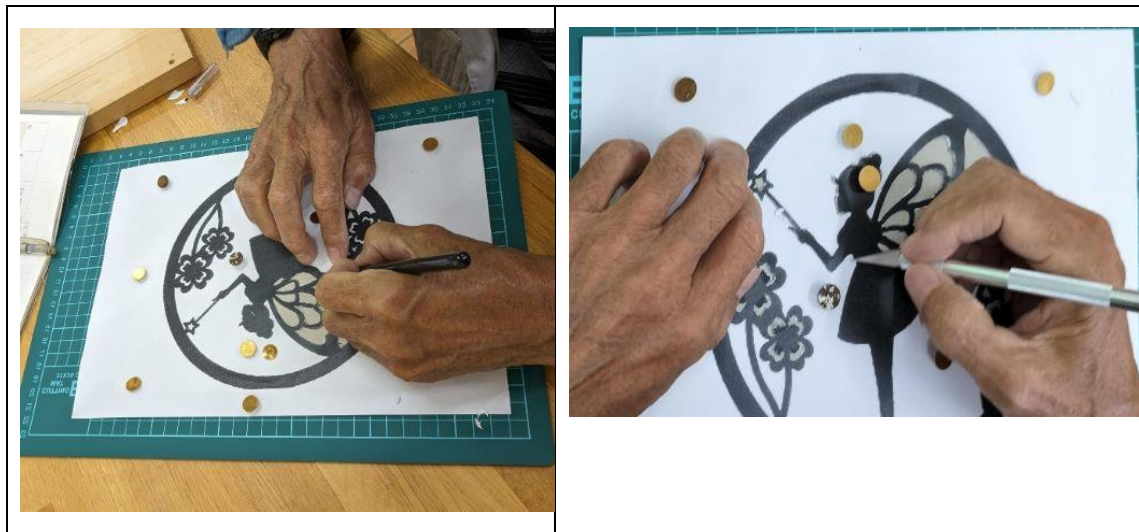


9月のクラフトサークルの定例会は型染めをしました。
今年は板染め以外に布の作品もできました。



まず型づくり、デザインカッターでカットしていきます。可愛い作品ですね。



お月見に来年の干支の辰、色んな作品ができそうですね



切り取りが終わったようですね

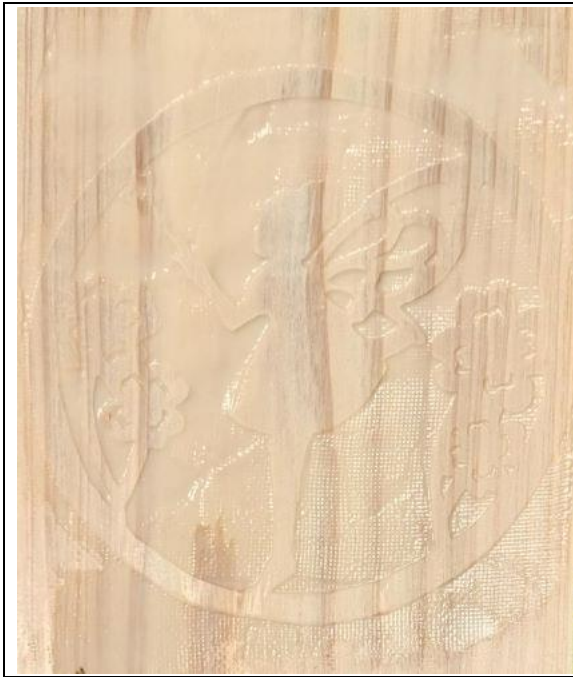


型紙ができたならこのような網で板の上や布の上に型紙を押さえます

きれいにカットできていますね。これを板の上に網が上になるように型紙を押さえます。

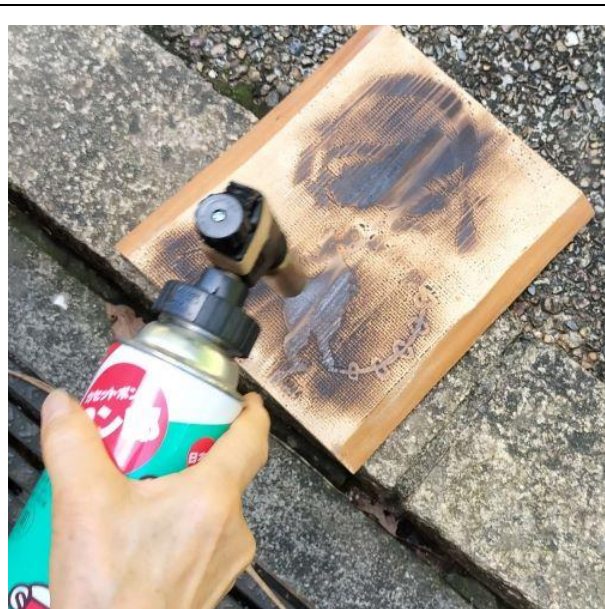


網の上から型紙が動かないように押さえて糊をヘラなどで丁寧に網の上から押さえるように塗り込みます



きれいに糊がついたら、網と型紙を外してバーナーで表面を焼いていきます。

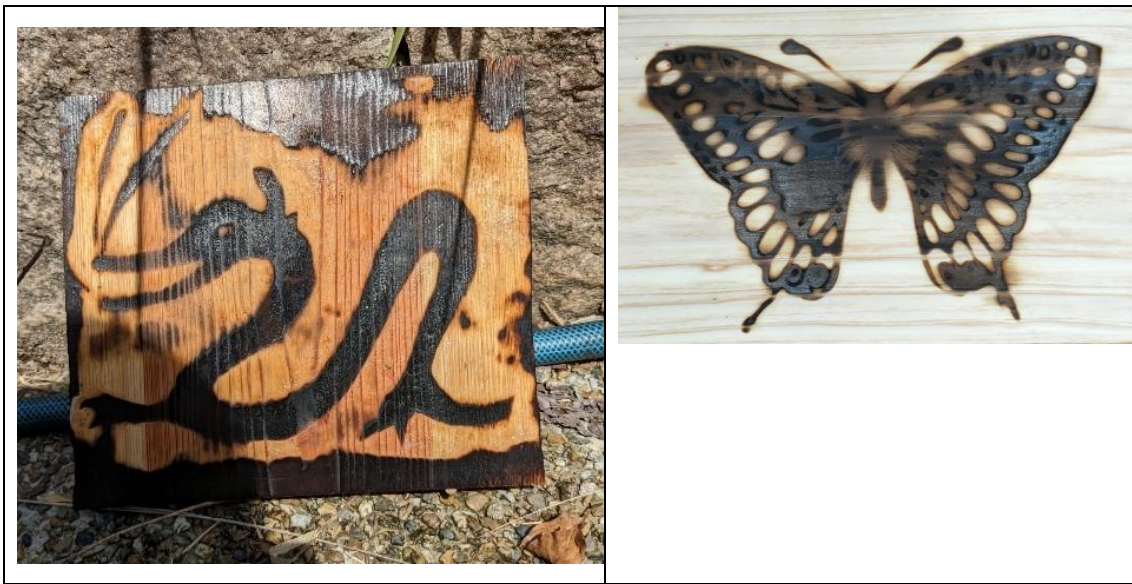
フッフ火が強そうですね





このように板と糊のあるところは焼けてますが糊を洗い流すと





火の強かった板もこのように糊のなかった板が焼けてきれいに模様が浮き上がります
 右の下の風神・雷神の作品は型紙を上手く利用して反転した作品になっていますね。



可愛いインコもできました。



これはできあがりの大きな写真がないのですがどうなったか気になります。

全体写真の右上にありますがよくわかりませんね。

型紙で薄い板もカットして板の上にのせて、糊をつけたのまでは確認しましたが



これは紺地の布に家紋の型紙を置いて染めるようです。



これは白地のバックにバラの花を染めるようです



ステンシルの技法で先が平たい筆で染料を叩くように押さえて染めています。



できあがりには鮮やかな赤が目を引きます。

写真撮れていませんが裏は藍色一色で染めました。それも素敵でした。



外で糊を乾かしたり、柿渋で染めた布を干しています



切り取った型紙を利用してこのように裏表を柿渋で染めています。

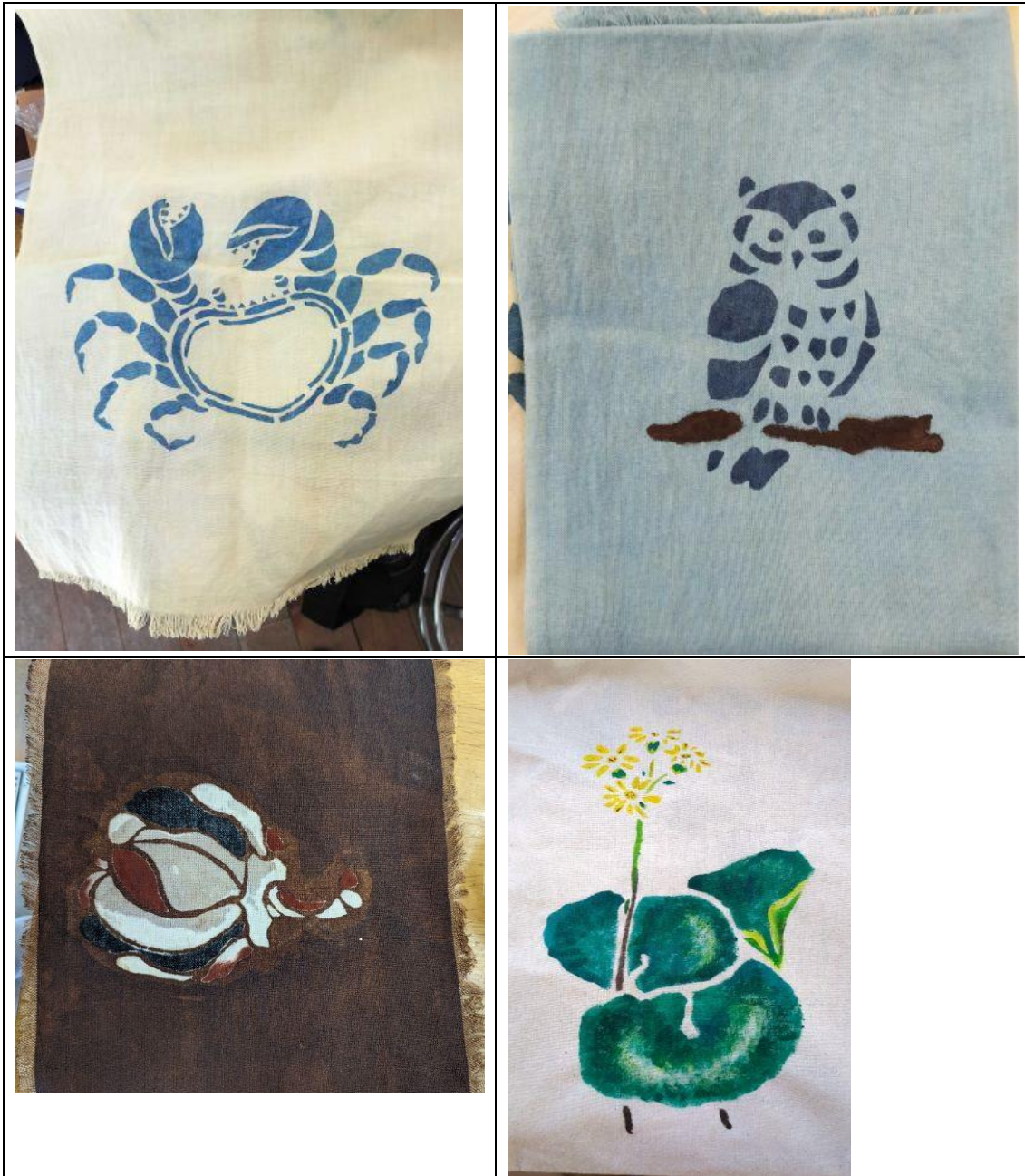


先ほど干していた柿渋で染めた布はピーマンの模様。

白い部分は糊を塗ったところです。糊が乾いてから柿渋に布を何回か浸してこの色です。

色が落ち着いてから糊を洗い流しています。





このように布の作品が今年はちらほら。来年もするなら布が多くなるかもしれません。
 デザインを考えるのも楽しいです。
 今度するときはどうしようかな。

型紙をいつも購入していたところが売り切れていたときにはどうしようかと思いました。
 作っていた工房が閉じたようです。
 お仕事で使っていた職人さんも困っているそうです。コロナの影響があちこちに。
 ネットで型染めの仕方など見つけたら挑戦してみてください。